



羽村市立栄小学校
学校だよりNO. 2
令和6年4月30日

言葉の力で、一人一人のよさを生かし
可能性を引き出し、伸ばす

校長 桑 まゆみ

令和6年度がスタートし、4週間が経ちました。1年生の子供たちは学校生活に慣れ、休み時間には黄色い帽子をかぶって、元気に校庭で遊んでいます。2年生から6年生の子供たちも、意欲的に、学習や活動に取り組んでいます。

4月是一个の場所に子供たちが集まって行く始業式、対面式、離任式、委員会紹介集会などの行事が、たくさんありました。栄小の子供たちは、開始時間前に集合できます。話が始めると、とても静かに聞くことができます。また、代表になった子供たちは、しっかりと自分の言葉を覚えて発表したり、役割を果たしたりすることができます。これは、今まで栄小で培ってきた子供たちの素晴らしい姿です。1年生も、上級生の姿を見て学んでいます。今後も学校教育全般を通して、子供たちが立派な姿を見せることができるよう、そして、望ましい習慣を身に付けていけるよう、指導・支援してまいります。

行事の様子も含め、学校における日々の子供たちの様子を栄小・校長ブログに掲載しております。ぜひご覧ください。

★栄小・校長ブログ★

日々の学校生活における子供たちの様子を伝えています。不定期での更新です。

なお、写真は、個人が特定できないようにするために、遠くから、児童が後ろ向き、横向きになるように撮影するとともに、解像度を低くして掲載しています。

【アドレス】

<https://hamurasakae.blogspot.com/?m=1>



栄小では、はむらの学校教育に基づき、今年度も「言葉の力」を中核とした学校づくりを進めていきます。

「言葉」がもっている力はとても大きいです。人を喜ばせたり、勇気づけたり、自分を鼓舞することもできます。残念ながら意図していなくても、自分が発した言葉で人を悲しませてしまったり傷つけてしまったりすることもあります。困ったり悲しんだりすることがあったら、些細なことでも身近な大人に相談できる環境づくり・関係づくりを進めていきます。

また、学校では言葉のもつ力の「よさ」を最大限に生かして、子供たち一人一人の可能性を引き出し、伸ばせるよう、指導していきます。

今年度も、「挨拶プラス一言」を教職員が実践していきます。挨拶の際に、子供たちを認め、励ます言葉掛けを一言付け加えて伝えるというものです。全教職員が子供たちにプラスの「言葉」掛けを実践することを通して、子供たち自身のよさ、友達のよさなどへの気付きを促します。また、身近な大人の行動を見て学び、子供たちが自分から、よりよい言葉掛け、上手な言葉遣いができるようになってほしいと思います。

校長室の前に、ちょっとした「言葉」コーナーを作りました。全校朝会で話したことの「キーワード」や四字熟語カレンダーの掲示、本の紹介などをしています。子供たちが、自分から学べる環境づくりも推進していきます。学校にお立ち寄りの際、お時間がありましたらご覧いただければ幸いです。



